

埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network
埼玉グリーン購入ネットワークニュース
第6号 2011年5月

—環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める首都圏発の地域ネットワーク—

埼玉GPN NEWS 2011.5



対談 秩父市長久喜邦康氏

CONTENTS

- 小さなエコ活動を多くの人で
久喜秩父市長対談 1
- ゼロエミッションを目指す
ロッテ浦和工場を見学 2
- 会員からの耳寄り情報
埼玉産にこだわり 県庁食堂 3
- 地産地消「BUY LOCAL」運動
今年の夏15%節電をするために
会員一覧 4

小さなエコ活動を多くの人で 久喜秩父市長対談

埼玉GPN江田会長が、秩父市の久喜邦康市長を訪問し、秩父市の環境やグリーン購入への取り組みなどについて聞きました。

江田：秩父市の環境への取組について、教えてください。

久喜：昨年、国から「緑の分権改革」の推進自治体と

して委託され、また、埼玉県からは「環境みらい都市」の認定をいただきました。これらは、荒川源流地域の森林や水環境を守る取り組みを、地域全体の活性化につなげ、さらに産業へ発展させようとする、本市の官民一体の取り組みが評価されたのだと思います。これからも素晴らしい山紫水明の秩父市の環境を守り、地域経済の発展を目指す「環境立市ちちぶ」を進めてまいります。ご支援をいただきたいと思います。

江田：秩父市役所は「グリーン購入への取組」をスタートさせましたね。

久喜：はい。本市の温暖化対策実行計画に基づき、平成22年7月からスタートしました。市がグリーン購入を率先することで、市民や事業者などのグリーン購入への取組を促したいからです。

江田：埼玉グリーン購入に期待することについて、教えてください。

久喜：県内（地域）で生産されたものを購入する運動を盛り上げていただくとよいと思います。地産地消や旬産旬消運動は、誰もが参加できるグリーン購入だと思います。地域産の農産物などは、輸送で発生するCO₂量も少なく環境面で貢献します。同じ地域の生産者が安心と安全を提供してくれる食品だと思っています。また、生産者も潤い、地域産業の活性化の役割もありますね。秩父の場合は、森林資源が豊富ですから、秩父産の木材を使った建築も、素晴らしいグリーン購入だと思います。こんな意味から、市民の皆さんが参加できるグリーン購入を、もっと普及啓発していただければと思います。私もがんばりますから。

江田：「秩父市環境市民会議」を立ち上げたそうですが、会議の目標などについて教えてください。

久喜：はい。市内には、環境NPOもたくさんあり、それぞれ目的に沿った活動を積極的に進



めています。環境団体は、秩父の自然環境を守り将来に引き継ぐこと、未来を担う子どもたちを育てることでは、皆共通した認識をもっています。

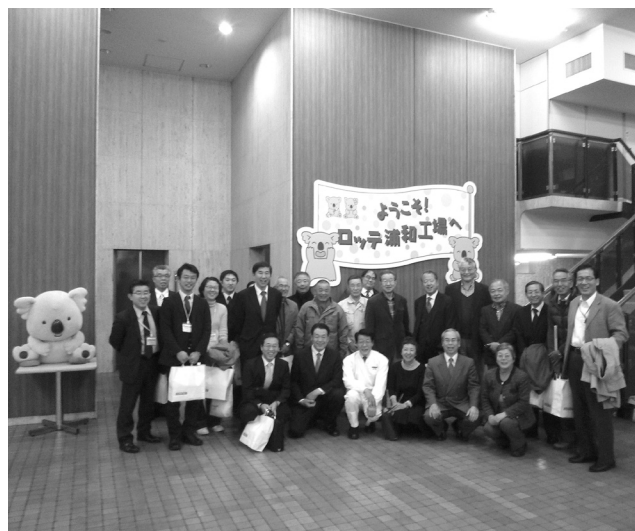
秩父の自然環境の保全や温暖化防止対策の推進を目指した環境市民会議は、環境団体をはじめ一般の市民、学校、企業の方にも大勢参加していただき、環境意識を共有して、仲間を増やすとともに、無理なく取組めるエコ活動から始めていきます。このため、行政が表に出て牽引するのではなく、市民主体で運営できるように、市は市民会議の活動自体を支援し、育てていきたいと考えています。

生活環境も自然環境も地球環境も皆つながっていますから、小さなエコ活動でも多くの人が取組むことで、大きな効果になります。グリーン購入も含め大勢の市民に意識して取組んでほしいと思います。

ゼロエミッションを目指す ロッテ浦和工場を見学

埼玉グリーン購入ネットワークでは、12月15日にさいたま市内の武蔵浦和駅から徒歩5分に位置するロッテ浦和工場へ総勢約25人で見学に行きました。ロッテ浦和工場は46年前に誕生し、皆さんお馴染みの板チョコを中心に「パイの実」や「コアラのマーチ」などのチョコレート菓子やアイスクリームを製造しています。従業員数約600人、敷地総面積約129,000㎡を誇る日本一の生産規模を誇る菓子工場です。工場での商品の製造工程などを見学した後、特別に鶴見工場長から環境への取組などについて説明をいただくことができました。

近年の人口増加により市街地の中での工場稼働を余儀なくされているという状況下で、振動や臭気、水処理など環境面でも様々な対応策を講じています。またロッテの工場全体では環境マネジメントシステムであるISO14001を取得し、環境負荷の低減に努めています。具体的には、包装材の減量化に努めると共に、今年からは資材の運搬において化粧箱からトレー方式に変更していることや、エネルギー5%カットにも取り組んでいます。また廃棄物はゼロエミッションを目指し、100%リサイクルを行っています。特にカカオのシェルが1日6~7t排出され、有効利用の実現化にむけて現在模索しているとのこと。物品購入に関しても、グリーン購入率は13%と今後さらに取り組んでいきたいと説明されていました。またカーボン



フットプリントなどの取組などについても、徐々に進んでいこうとのことでした。

最後に、工場長は年間30kgのチョコレートを35年以上食しているとのことですが、外観上はメタボには遠く、カカオは血圧を下げたって健康とのこと。

第4回定期総会のお知らせ

日 時：2011年6月15日(水)

【総会】14:00～ 【講演会】15:00～

会 場：さいたま共済会館502会議室

(さいたま市浦和区岸町7-5-14)

※総会終了後、埼玉グリーン購入フォーラム
埼玉GPN設立5周年特別震災支援講演会を開催
致します。

定 員：50名(要申込、先着順)

資料代：1,000円(義援金とします)

プログラム

・講演会

「震災現場の実態とその支援のための
グリーン購入」

講 師 竹本 徳子氏

(東北大学大学院 特任教授)

・最新の話

「当社の電力需給状況と節電のお願い」

丸山 修毅氏(東京電力(株)埼玉支店)

・懇 親 会 (会費千円)

会員からの目寄り情報 環境応援融資で金利優遇

埼玉りそな銀行は、地元埼玉の法人のお客さまの環境保全に関わる積極的な取組をサポートすることを目的とした、新たな融資商品「埼玉りそな環境応援融資」を開発し、お取扱いをさせて頂いております。

本商品はお客さまの環境経営へのお取組み状況を当社独自の環境格付に基づいて評価させていただき、その評価結果に応じて環境保全に資する設備投資に係るお借入れについて段階的に金利をディスカウントさせて頂いたくものです。

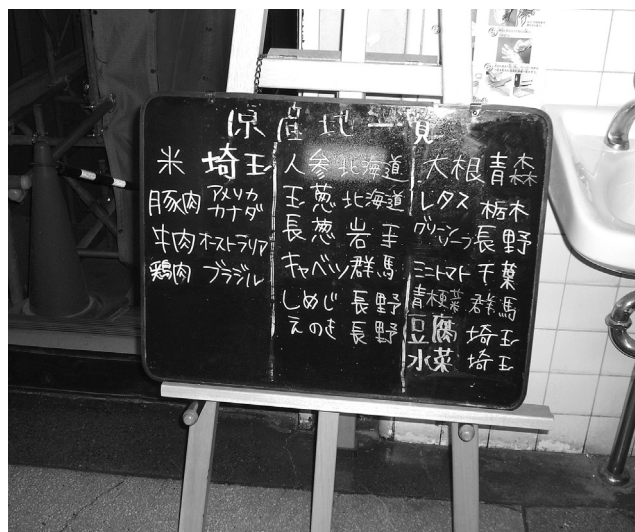
また、上記環境格付評価に限らず、お客さまが既に取得されている第三者による環境認証 (ISO14001やエコアクション21、埼玉県エコアップ認証等) についても、本商品の金利ディスカウント対象としております。

当社は、環境経営をはじめとするお客さまの様々な経営課題について共に考え、解決に向けた取組を行うことで、お客さまとの強固な信頼関係を構築していくことを目指しており、本商品に限らず、多様なサービスで地元埼玉のお客さまのニーズにお応えして参ります。

本商品の詳しい内容につきましては、お近くの弊社各支店にお気軽にご相談ください。

商品名	埼玉りそな環境経営応援融資
総額	100億円
お申込みいただける方	環境格付付与先 第三者環境認証取得先 環境保全に関わる設備投資を行う先
ご融資金額	30百万円以上
資金使途	環境保全に関わる設備資金
ご融資金利	当社所定の金利から環境経営の取組状況に応じて最大年1.9%のディスカウントを行います
ご融資期間	1年超

埼玉産にこだわり 県庁食堂に行ってみました



地産地消の生産物は、エネルギーの削減と新鮮・安心につながります。

埼玉グリーン購入ネットワークでは、輸送におけるエネルギーが軽減できる地産地消の取組を推進しています。

今回は埼玉県庁にある食堂に行ってきました。県庁食堂では産地表示を行っていたり、県産の小麦を使ったうどんなども提供していました。



写真

例えば、県庁の食堂でいただいた肉汁うどんが、材料が県産と輸入のものとを比較すると、県産のものはフードマイレージが260分の1、CO₂は45分の1となります。

地産地消BUY LOCAL」運動 ～企業のCSR～

埼玉県内で環境活動を行っている「NPO法人環境ネットワーク埼玉」は、当会員である与野フードセンター（本社＝さいたま市）と協働し、地産地消商品の購買を促す「BUY LOCAL」運動を展開しています。野菜売り場などで埼玉生まれの地産地消商品にロゴマークを表示し販促運動を実施しています。埼玉県産の農産物マップが載ったパンフレットの配布やポスター表示をし、消費者へ啓発を行っています。地産地消は新鮮で安心な食べ物を提供するばかりでなく、海外からの輸入にかかる環境負荷や二酸化炭素の削減にもつながります。地元スーパーとNPOとの連携による取組は画期的で、このような活動がさまざまな地域で広がることを期待したいと思います。



今年の夏 15%節電をするために

この夏の電力、企業も家庭も15%の節減を求められています。

さて、私たちはどのような取り組みを行っていったら良いのでしょうか。

具体的な節電対策として

- ①ブラインドを開けて太陽光を取り入れる。
- ②執務室50%消灯。
- ③廊下や玄関の照明80%間引き。
- ④室温を28℃以上に。
- ⑤終業1時間前に空調を止める。
- ⑥離席時、昼休み、帰社時はパソコンをOFFに。
- ⑦夜間コピー、FAXは電源OFFに。
- ⑧電気ポットは使わない。
- ⑨エレベーター半減。
- ⑩温水洗浄水の温度を下げる。
- ⑪電気便座のコンセントを抜く。
- ⑫節電担当者をおく。
- ⑬デマンド監視。

などがあげられています。

さらに、複数社での取り組みとしては、営業時間・

営業時間の調整・シフト、操業日・営業日の調整・シフト、夏季休業の設定・長期化・分散化などがあげられます。

埼玉GPN会員一覧

順不同
りそな総合研究所(株)、(株)ぶぎん地域経済研究所、(株)ハイディ日高、(株)テレビ埼玉ミュージック、大宮アルディージャ、浦和レッドダイヤモンドズ、(株)氏家製作所、埼玉日産自動車(株)、柏木建設(株)、武州ガス(株)、(株)ヤオコー、(有)タカザワ企画、(有)パル、(株)関東パイプ技研、(株)小山本家酒造、埼玉トヨペット(株)、ポラス(株)、リコージャパン(株)埼玉支社、望月印刷(株)、(株)埼玉交通、(株)イーシティ埼玉、新日本有限責任監査法人さいたま事務所、(株)大和ライト工業、(株)ピックルスコーポレーション、(株)FM NACK 5、(株)デサン、(株)タカヤマ、(株)アクセル、(株)ビージーサービス、武州産業(株)、(株)埼玉りそな銀行、(株)ビルテクノマイニチ、(株)イー・シー・エス、(株)松永建設、(医)誠昇会北本共済病院、(株)マツハ、税理士法人レッドサポート、(株)武蔵野銀行、(株)ウイロウベル、(株)アルク設計事務所、埼玉県信用金庫、(株)八洲電業社、(株)エンライト、(株)ワーム、(株)アライ、(株)ジャスト、東京ガス(株)埼玉支店、(株)ユーパーツ、溝口洋紙(株)、(株)エコ環境システム、(株)松柳園、(株)甲商、(株)ビルヒット、(株)東京化成製作所、アピカ(株)、ケミテック シー・エス・エス(株)、武正(株)、北海製罐(株)、コクヨマーケティング(株)埼玉支店、富士ゼロックス埼玉(株)、国際チャート(株)、計測サービス(株)、三国コカ・コーラボトリング(株)、(株)ベルエール、(株)ハイクレー、フォーレスト(株)、サンケイ鋼器(株)、大成ロテック(株)、(株)ジャパンアート、(株)アートドットコム、(株)シール堂印刷埼玉事業所、(株)埼玉ディエスジャパン、(社福)埼玉福祉会、毎日興業(株)、(株)与野フードセンター、マルキュー(株)、(株)メガネットワーク、(株)国太楼、(株)エヌ・ティ・ティ・クオリス、(株)太陽商工、戸田市、埼玉県、入間市、さいたま市、日高市、川越市、川口市、生活協同組合さいたまコープ、(特非)EEハーモニー、埼玉県商工会連合会、(財)さいたま市産業創造財団、(財)埼玉県産業振興公社、埼玉中小企業家同友会、さいたま商工会議所、埼玉県中小企業団体中央会、(財)埼玉県公園緑地協会

■ 入会案内

団体会員、サポーター（個人会員）があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。

■ 発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

〒337-0053さいたま市見沼区大和田町2-1322-2大和田NPOプラザ内
TEL.048-649-8087 / FAX.048-649-8088

E-mail saitamagpn@yahoo.co.jp

Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>